

配点紹介



ここでは一橋入試の各学部の特長を紹介いたします。一橋は学部ごとに配点が大きく異なっており、自分の志望学部に合わせて勉強内容を変えることも重要です。

前期		国語	数学	英語	社会	理科	合計
商	共通テスト	50	50	50	50	50	250
	二次試験	125	250	250	125	—	750
経	共通テスト	40	40	40	40	50	210
	二次試験	110	260	260	160	—	790
法	共通テスト	50	50	50	70	50	270
	二次試験	110	180	280	160	—	730
社	共通テスト	20	20	20	20	100	180
	二次試験	180	130	280	230	—	820
SDS	共通テスト	40	40	40	※①	※①	240
	二次試験	100	330	230	※②	※②	760

※①共通テストでは理科80点・社会40点、または理科40点・社会80点。

※②二次試験には社会がなく、代わりに総合問題100点が課されます。

後期		国語	数学	英語	社会	理科	合計
経	共通テスト	40	40	40	※40	※40	200
	二次試験	—	400	400	—	—	800
SDS	共通テスト	40	40	40	※40	※40	200
	二次試験	—	500	300	—	—	800

※理科・社会はともに1科目ずつ(理科基礎は2つで1つとしてカウントする)。

学部紹介



ここでは一橋の各学部の特徴を紹介します。学部ごとの雰囲気や学習内容を事前に知っておくことで志望学部が決定し、入試へのモチベーションも上がります。

商学部



一橋の看板学部！

商学部は一橋の学部の中で最も歴史の古い、一橋の看板学部です。1,2年次の前期課程では、必修のゼミやマーケティング・会計学など企業活動に関わる講義で基礎知識を学び、3,4年次の後期課程では、興味のある分野における専門的な知識や能力を身につけていきます。講義とゼミの2つの学習の場を通じ、習得した知識を活用して問題解決へと導く「実学」を身につけることができます。

経済学部



意外と身近な学問！

経済学部では、1,2年次は統計学・ミクロ経済学・マクロ経済学などの入門授業を通して、経済学的な分析や考察を行うために必要な基礎知識を学びます。3年次からは行動経済学や金融工学など、自分の関心に沿った学問領域をゼミで分野ごとに分かれて研究していきます。経済学部で学んだ知識は日常生活と関連づけられるものも多いです。金融や商社など幅広い職業で役に立ち、将来の選択肢を広げてくれるでしょう。

法学部



国際関係論も学べる！

法学部では、公法・国際法・民法などの各分野から多種多様な学問領域の授業が開講されており、自分の関心のある分野や学習目的に応じた科目選択ができます。希望者は2年次に法曹コースへの選抜があり、その他の学生は3年次に法学コースか国際関係コースのいずれか希望するコースに所属します。また、3,4年次のゼミでは、少人数教育を通じて密度の濃い専門的な学習ができます。

社会学部



一橋イチの守備範囲！

社会学部では社会学だけでなく、政治学・人類学・哲学・歴史学など社会科学、人文科学のさまざまな分野を学ぶことができます。1年次の必修科目では各分野の基礎を網羅的に学び、自分の興味のある分野をじっくり探します。2年次以降は専門的な科目も履修できるようになり、本格的に自分の学びたい分野を考えていくこととなります。3年次以降はゼミに所属し、2年間かけて自分の学ぶ分野の理解を深めます。



今年度新設

SDS学部は次のページへ